

まちの日記帳



みんなで楽しくレッツトライ！ 「タグラグビー第5回タグマッチ」

3/26

3月26日、B & G 海洋センターで「タグラグビー第5回タグマッチ」が開催され、町内の児童から大人まで約50名が参加しました。

6チームに分かれ、総当たりで順位を決め、その順位をもとに決勝トーナメントが行われます。参加者はパスやステップで相手をかわし、トライをとっていました。また、地域の皆様からたくさんの景品が提供されました。

主催者である積丹TRF（タグラグビーファミリー）の鈴木良治代表（美国町）は、「タグラグビーの楽しさを知ってもらい、地域のスポーツとなってもらえれば嬉しいです。チームメートは随時募集していますので、ご遠慮なくお声掛けください。」と話していました。



これからよろしくね！ びくに・みなと保育所入所式

4/3

びくに保育所入所式・みなと保育所入所式が3日に行われ、それぞれ20名と4名の園児が入所しました。

式典では、石田保育所長のお話と先生の紹介の後、元気に登園した園児一人ひとりの紹介が行われ、照れながらも元気な返事が響いていました。

かわいいわが子の成長に顔をほころばせ、嬉しそうに見守っているお父さん、お母さんたちの姿が印象的でした。



▲びくに保育所



▶みなと保育所

コロナ前の集客を目指して 水中展望船「安全祈願祭」

4/13

（株）積丹観光振興公社（杉山 覚代表取締役社長）の水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が行われ、同社役員と社員などが玉串を捧げ4月25日から始まる運航の無事を祈りました。

杉山社長は挨拶の中で「知床の事故や様々な世情によりほとんどキャンセルとなり、大変困難なシーズンだった。第一の目標の「乗客の安全」と「安全運航」に職員一丸となって取組み、町内外の観光事業者と協力してこの難局を乗り越えていきたい。」と、決意を新たに今シーズンを迎えました。



北後志消防組合積丹支署

— 消防ニュース —



子どもの時から災害が起きるかもしれないという危機意識や防災意識を高めるため、北海道消防協会後志地方支部余市分会より町内の小学生に防災啓発グッズが寄贈され、4月5日に富士谷積丹消防団長から十河教育長へ手渡されました。

防災啓発グッズを寄贈



地域の防災力の向上には、自助、共助、公助の中でも近隣住民や地域の人たちが互いに協力し、助け合う「共助」が大切です。災害に強い安心・安全な町づくりには地域の皆様のご協力が不可欠です。皆様の入団・入会をお待ちしています。

積丹支署（播磨 誠支署長）では、住民の安全と安心を守る重要な役割を担う消防団員、女性防火クラブ員の担い手を募集しています。令和4年度は、積丹町地域おこし協力隊の方々へ消防団・女性防火クラブの活動状況・内容等の説明会を開催し、消防団3名・女性防火クラブ2名の計5名が新しく入団・入会いただきました。

消防団員

・女性防火クラブ員を募集！

行政相談委員、人権擁護委員

を紹介します！

行政相談委員

毎日の暮らしの中で、国や役所などで行っている仕事について困っていること納得できないことなどはありませんか。

行政相談委員は市町村長の推薦により“総務大臣”が委嘱した民間の人たちで、皆さんから広く行政に対する苦情や相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事をしています。

相談は無料で秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

新任・俵谷 宗義さん（美国町）
TEL 44-3108

= 総務省 =

人権擁護委員

人権擁護委員は、市町村長の推薦により“法務大臣”が委嘱した民間の人たちで、あらゆる人々の人権を守るため、毎日の暮らしの中で起こる人権に関する問題（いじめ、体罰、差別問題など）に対し、人権相談を受けています。不当な差別、職場・学校でのいじめなど、「これは人権問題では？」と感じたら、ひとりで悩まずにお

気軽にご相談ください。

相談は無料で秘密は厳守されます。

町内の3名の人権擁護委員は次の方々です。

再任・成田 康正さん（美国町）
TEL 44-2102

再任・鳴海 君子さん（入舸町）
TEL 45-6647

新任・吉田 美香子さん（余別町）
TEL 46-5122

= 法務省 =

一 余市警察署通信 一



自転車に 乗るなら必ず ヘルメット

①ヘルメットを着用しましょう

令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対し、ヘルメット着用努力義務が課されることとなりました。

安全のために自転車に乗る際は、ヘルメットを着用しましょう。

②新・自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側を通行。
歩道は例外、歩行者を優先。
2. 交差点では信号と
一時停止を守って、安全確認。
3. 夜間はライトを点灯。
4. 飲酒運転は禁止。
5. ヘルメットを着用。



◆山岳遭難の防止◆

- 無理のない計画と登山計画書の提出
- 万全の装備と余裕のある食料等の準備
- 複数人による登山
- 通信機器の所持
- 気象情報の確認が大切です。



札幌管区気象台からのお知らせ

「春の登山や山菜採りについて」

春の登山や山菜採りの季節がやってきました。この時期、平地は春のような気温でも、山に雪が残っている場合は、雪崩や、気温の低下と風による低体温症など冬山の危険があることを意味します。また、春は雪解けによる沢の急激な増水の危険もあります。

遭難などの事故に遭わないよう、次のことに注意して登山や山菜採りを楽しみましょう。

- 最新の天気予報を十分確認し、悪天や天気急変が予想される際には、無理な行動を控えましょう。
- もしもの場合に備えて準備は万全にしましょう。防寒対策や雨具、食料の準備、連絡手段を絶やさないための携帯電話、予備のバッテリーなども準備しましょう。
- 単独行動は避けて、経験豊富な人と一緒に行動し、行先は家族にも伝えておきましょう。また、登山計画書の提出も忘れずにしておきましょう。

この時期は一年を通して空気が最も乾燥し、山火事が発生しやすくなります。山火事の原因の多くは、たき火やたばこなどの火の取り扱いの不注意や不始末と言われています。火の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火したことを確認しましょう。

【問合わせ先】札幌管区気象台 地域防災推進課 TEL 011-611-6149

粗大ごみ収集日と申込期間

収集日	5月26日(金)
申込期間	5月16日(火)から 5月22日(月)まで
申込先	役場住民福祉課 TEL44-2113

日本年金機構からのお知らせ

年金事務所では、年金についての予約相談を実施しています。

ご予約の際は、基礎年金番号のわかる年金手帳や年金証書などをご準備のうえ、お問い合わせください。

【問合わせ先】日本年金機構
ねんきんダイヤル
TEL 0570-05-4890